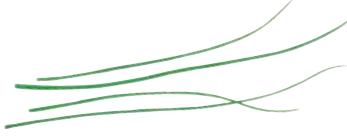




第100期 中間期事業のご報告

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

エスビー食品株式会社

Star Anise 	Marjoram 	Rosemary 	Dill 	Ciboulette 	
Shiso 		Cardamon 	Italian Parsley 	Chili Pepper 	Sweet Basil 
Clove 	Chamomile 	Cinnamon 	Black Pepper 	Saffron 	

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

ここに当社第100期中間期(当第2四半期連結累計期間:平成24年4月1日～平成24年9月30日)の事業の概況と決算のご報告を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として緩やかな回復が見られましたものの、欧州の債務危機を起因とした世界経済の減速や円高の長期化により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、お客様の節約志向は依然として強く、また、原材料価格も不安定な状況で推移するなど、厳しい環境が続きました。

このような状況のなかで、当社および連結子会社(以下「当社グループ」といいます。)は、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、お客様の視点に立って、当社グループの強みでありますスパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。新たな価値の訴求や創造をテーマにした製品開発を進めますとともに、おいしさや楽しさを広げる食の総合的なプロモーションを展開してまいりました。また、安全・安心な製品をお届けいたしますため、生産履歴に関する情報システムの充実や生産現場での作業品質の向上等も進めてまいりました。

経営管理面におきましては、本年の定時株主総会で社外取締役を選任し、コーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前

目次

株主の皆様へ	1
事業別概況	3
トピックス	5
業績の推移(連結)	7
財務諸表(連結)	8
会社情報	10

年同期比10億19百万円減の626億12百万円(前年同期比1.6%減)となりました。一方、利益面におきましては、売上高の減少に加え、原材料価格の上昇等により売上原価率が増加したこと、また競争激化により販売促進費の割合が増加したことから、営業利益は前年同期比10億84百万円減の15億54百万円(同41.1%減)、経常利益は前年同期比10億16百万円減の13億71百万円(同42.6%減)、四半期純利益は前年同期比2億85百万円減の6億85百万円(同29.4%減)となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、前期と同様1株につき7円(年間配当金は14円を予定)とさせていただきます。

通期の見通しにつきましては、東日本大震災からの復興需要が内需を下支えすることが期待されますが、世界経済のさらなる減速や原油価格の高止まりなどの懸念材料から、先行き不透明な状況はしばらく続くものと推測されます。

食品業界におきましては、個人消費の一部に弱い動きが見られるなかで、お客様の意識や要望の変化に対応することが求められるものと予想されます。

当社グループといたしましては、このような情勢のもと、企業理念「真の顧客満足の追求」の具現化に向けて、あらゆる面でお客様の視点に立った活動を継続してまいります。

これまで以上に、お客様に対する食の提案が期待されるなかで、市場競争力をもった価値ある製品の開発に励んでまいります。また、さまざまな情報発信手段を活用してメニュー提案などを行い、スパイス&ハーブを中心とした当

社製品をより身近にお使いいただけるような提案を継続してまいります。

製品の安全・安心対策では、引き続き品質管理の徹底を行いますとともに、検査体制のさらなる充実にも努めてまいります。そして、より一層の品質保証体制を確立するための取組みを進めてまいります。

経営管理面におきましては、執行役員制度を活用し経営の一層のスピードアップを図りますとともに、社外取締役による経営の監督と社外監査役による監視機能を充実させることで、コーポレート・ガバナンスの強化にも取り組んでまいります。

そして、全社全部門で生産性向上に向けた取組みを既成概念にとらわれることなく推進し、社会環境の変化に耐える企業体質の構築に取り組んでまいりたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜われますようお願い申し上げます。

平成24年11月



代表取締役社長

山崎 雅也

食料品事業

売上高 571億7百万円 前年同期比 1.8%減

● スパイス&ハーブ

「SPICE&HERB」シリーズをはじめとする洋風スパイスが前年同期実績を上回るとともに、手軽にスパイスを楽しめる「マジックソルト」などのシーズニングスパイスや業務用香辛料製品も順調に推移いたしました。また、フレッシュハーブも大幅に売上を伸ばいたしましたことから、売上高は前年同期比3億45百万円増の100億43百万円となりました。



● 即席

高級タイプの「ディナー」シリーズや、濃厚な味わいが特徴の「濃いシチュー」をリニューアルいたしますとともに、夏季限定製品「ゴールデンカレー バリ辛」を発売いたしました。前年同期実績の反動や残暑の影響によるシチュー製品の伸び悩みなどから、売上高は前年同期比4億93百万円減の157億36百万円となりました。



● 香辛調味料

チューブ製品におきましては、お徳用タイプがご好評をいただきますとともに、新製品の「本生きざみわさび」も売上に寄与いたしました。また、中華調味料の「李錦記ブランド」製品も順調に推移いたしました。ラー油関連製品が前年同期実績を下回りましたことから、売上高は前年同期比6億33百万円減の146億43百万円となりました。



● インスタント食品その他

パスタソースにおきまして、「洋風パスタ」シリーズや「予約でいっぱいのお店」シリーズなどラインナップの充実に努め、また、「アネージブランド」のパスタも市場導入が進みましたことから、売上が伸長いたしました。しかし、レトルトカレーや「なっとくの丼」シリーズの売上が減少いたしましたことから、売上高は前年同期比2億91百万円減の166億85百万円となりました。

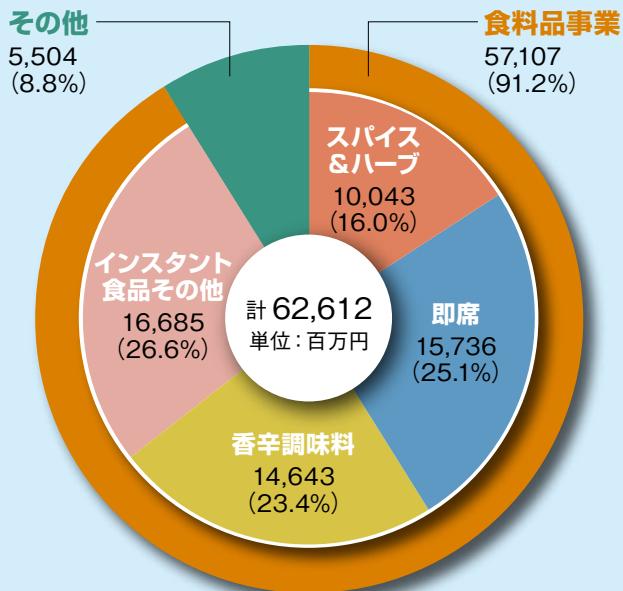


その他

売上高 55億4百万円
前年同期比 1.0%増

調理麺が好調に推移するなど、調理済食品が前年同期実績を上回りました。

連結売上高構成比



ハーブショップ「SOLEILA(ソレイラ)」出店

当社は本年6月、東京駅構内の商業施設「GRANSTA(グランスタ)」の丸の内側エリア内に、ハーブショップ「SOLEILA(ソレイラ)」*を出店しました。

- ※店名は、フランス語で「太陽」を意味する「SOLEIL」に、人を惹きつける(仏: attirer、英: attract)、香り(仏: arôme、英: aroma)、楽しむ(仏・英: amuse)を意味する言葉の頭文字「A」を加えて「SOLEILA」としました。

さまざまな香りで日常をより楽しくしてくれる自然の恵みであるハーブを、気軽に・身近に・楽しく毎日の時間に取り入れていただけるよう、“動物たちのハーブガーデン”をコンセプトに、たくさんの動物たちを通じてハーブの豊かなバリエーションをご紹介します、ちょっと幸せな時間をご提案しています。

「SOLEILA」では、オリジナルのブレンドハーブティー、フルーツハーブティー、ハーブラテや東京駅限定カレールウ・ハヤシルウなど90種類以上のアイテムの他、ハーブティー関連グッズも販売しています。

(ショップの概要)

- 店名 : SOLEILA GRANSTA店
- 出店エリア : JR東京駅構内「GRANSTA」内(地下1階)
- 営業時間 : 月～土 …8:00～22:00
日・祝日…8:00～21:00

※「SOLEILA」に関する情報は、下記のサイトでご覧いただけます。
(<http://www.soleila.jp/>)



SOLEILA

「本生」シリーズ 「本生きざみわさび」新発売 & 既存品リニューアル

1987年に高級タイプのチューブ入りわさび「本生おろしわさび」を業界に先駆けて発売して以来、常に本物のおいしさを追求して改良を重ねてきた「本生」シリーズに、本年8月、新製品の「本生きざみわさび」が加わりました。辛さ控えめで茎のシャキシャキとした食感が料理に絶妙のアクセントをそえ、ステーキ、焼き鳥、お茶漬け、手巻き寿司、冷奴、アボカドなど幅広くご利用いただける新感覚のわさびです。

また同時に、さらなる品質向上を図るため、既存品のリニューアルを行いました。最後まで絞り出しやすい形状の「ラクしぼりチューブ」の採用や、1/4回ひねるだけで開閉ができる「すぐ開きキャップ」に改良を加えるなど、容器にも工夫を凝らし、さらに使いやすくなりました。

製品価値向上によりパワーアップした「本生」シリーズで、市場の活性化を目指すとともに、売上の拡大を図ります。

※「本生」シリーズの情報は、当社ホームページでご覧いただけます。
(<http://www.sbwasabi.jp/>)



フレッシュハーブ発売25周年

スイートバジル、パースレー、セージ、ディル、タイムの5品目で1987年に販売を開始した当社フレッシュハーブは、おかげさまで本年5月に発売25周年を迎えました。

一年を通じて摘みたての新鮮なハーブをお楽しみいただけるよう、生産者との取組みを広げ、今では北海道から沖縄まで各地域の多くの皆様とともに全国に流通させる仕組みを整えています。

また、安全・安心にこだわり、当社が定めた安全基準のもとに栽培・出荷する体制を整え、お客様の“安心”につながる品質の向上・改善と安定的な収量確保に努めています。

現在、国産の各種生鮮ハーブからサラダ商材としてすっかり定着したベビーリーフまで、30品目を超える商品を販売しており、売場での生鮮食品との関連販売や雑誌広告などを通じたメニュー提案にも積極的に取り組んでいます。



※フレッシュハーブに関する情報は、当社ホームページでご覧いただけます。
(<http://www.sbfoods.co.jp/freshherb/>)

「社会・環境報告書2012」発行

当社グループでは、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、商品開発、生産、物流、販売などさまざまな場面で、環境負荷低減や安全・安心への取組み、企業としての社会的責任への取組みなどを積極的に行っています。

これら当社グループの社会と環境に関する活動をご報告することにより、ステークホルダーの皆様とのより良いコミュニケーションを図ることを目的として、「社会・環境報告書2012」を発行しました。

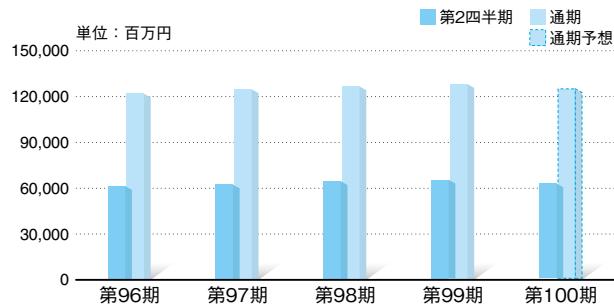
本年度は、当社グループの活動をより身近に感じていただけるよう、皆様の声を従来より多く取り入れ、双方向のコミュニケーションが図れるよう心掛けました。さらに、経営トップのお客様満足に対する姿勢や考え方をより具体的に知っていただくため、若手社員との座談会の内容を掲載しています。

※「社会・環境報告書2012」は、当社ホームページでご覧いただけます。
(<http://www.sbfoods.co.jp/company/corp/eco/index.html>)

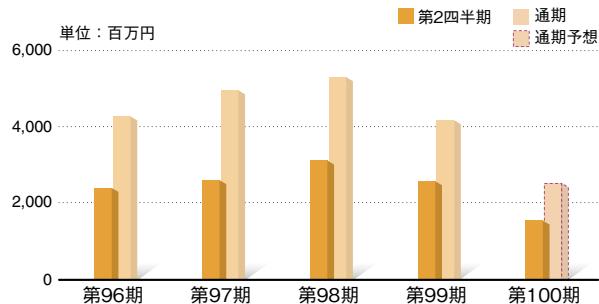


業績の推移(連結)

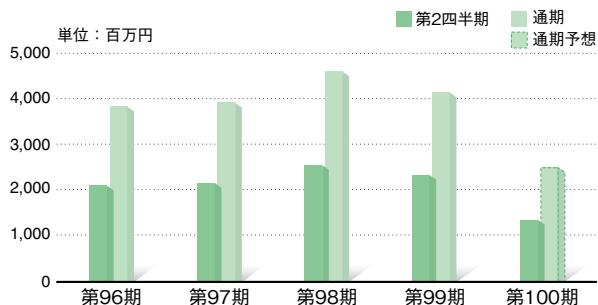
売上高



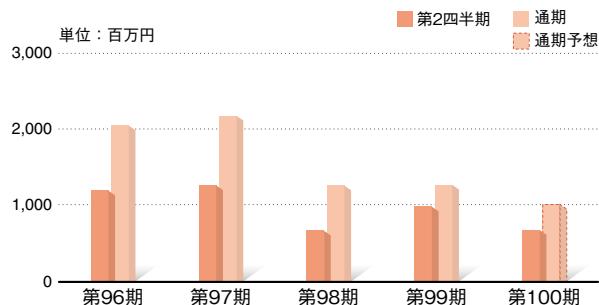
営業利益



経常利益



当期純利益



区 分	第96期	第97期	第98期	第99期	当第2四半期
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	(平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
売上高 (百万円)	122,907	124,474	126,722	127,381	62,612
営業利益 (百万円)	4,304	4,956	5,352	4,178	1,554
経常利益 (百万円)	3,826	3,925	4,647	4,128	1,371
当期純利益 (百万円)	2,053	2,185	1,249	1,296	685
1株当たり当期純利益 (円)	59.01	62.78	35.93	37.31	19.72
純資産 (百万円)	23,833	25,820	26,916	28,118	28,494
総資産 (百万円)	95,985	95,290	94,970	97,142	99,977

財務諸表(連結)

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間 (平成24年9月30日現在)	科 目	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間 (平成24年9月30日現在)
[資産の部]			[負債の部]		
流動資産	58,737	61,794	流動負債	46,406	51,508
現金及び預金	15,450	17,132	支払手形及び買掛金	11,300	11,233
受取手形及び売掛金	25,261	27,112	短期借入金	22,731	28,295
商品及び製品	4,750	4,773	未払法人税等	703	390
仕掛品	1,398	1,126	賞与引当金	1,168	1,164
原材料及び貯蔵品	3,801	4,208	資産除去債務	2	1
その他	9,003	8,329	その他	10,500	10,423
貸倒引当金	△927	△889	固定負債	22,617	19,974
固定資産	38,404	38,182	長期借入金	13,312	10,464
有形固定資産	26,817	26,693	退職給付引当金	6,068	6,135
建物及び構築物(純額)	10,075	9,926	債務保証損失引当金	343	342
機械装置及び運搬具(純額)	4,798	4,560	資産除去債務	124	121
土地	10,102	10,094	その他	2,769	2,911
その他(純額)	1,841	2,111	負債合計	69,023	71,483
無形固定資産	583	632	[純資産の部]		
のれん	22	21	株主資本	31,592	32,017
その他	560	611	資本金	1,744	1,744
投資その他の資産	11,002	10,856	資本剰余金	5,344	5,344
投資有価証券	4,573	4,108	利益剰余金	24,606	25,052
その他	7,091	7,364	自己株式	△103	△122
貸倒引当金	△661	△616	その他の包括利益累計額	△3,473	△3,523
資産合計	97,142	99,977	その他有価証券評価差額金	405	368
			土地再評価差額金	△3,831	△3,835
			為替換算調整勘定	△47	△55
			純資産合計	28,118	28,494
			負債純資産合計	97,142	99,977

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
売上高	63,631	62,612
売上原価	36,009	36,251
売上総利益	27,622	26,360
販売費及び一般管理費	24,983	24,806
販売促進費	14,691	14,830
その他	10,292	9,976
営業利益	2,638	1,554
営業外収益	228	245
受取利息	45	57
受取配当金	59	63
不動産賃貸料	24	18
貸倒引当金戻入額	4	—
その他	94	106
営業外費用	478	428
支払利息	332	334
貸倒引当金繰入額	103	62
為替差損	23	16
その他	19	14
経常利益	2,388	1,371
特別利益	3	16
貸倒引当金戻入額	—	4
債務保証損失引当金戻入額	—	1
受取保険金	—	7
ゴルフ会員権償還益	1	—
その他	2	3
特別損失	449	419
固定資産除却損	15	21
減損損失	164	8
投資有価証券評価損	153	386
ゴルフ会員権評価損	22	4
貸倒引当金繰入額	4	—
債務保証損失引当金繰入額	33	—
災害による損失	27	—
その他	27	0
税金等調整前四半期純利益	1,942	968
法人税、住民税及び事業税	966	377
法人税等調整額	5	△94
法人税等合計	972	283
少数株主損益調整前四半期純利益	970	685
四半期純利益	970	685

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,244	△196
投資活動による キャッシュ・フロー	△819	△504
財務活動による キャッシュ・フロー	2,723	2,397
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△13	△10
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	4,135	1,685
現金及び現金同等物の 期首残高	13,914	15,427
現金及び現金同等物の 四半期末残高	18,049	17,112

※財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

- 商 号 エスピー食品株式会社
- 本 社 所 在 地 東京都中央区日本橋兜町18番6号
- 設 立 年 月 日 昭和15年4月5日(創業大正12年)
- 資 本 金 1,744百万円
- 従 業 員 数 1,226名
- 主要な事業内容 スパイス&ハーブ(カレー粉、コショウ、洋風スパイスなど)、即席(ゴールデンカレー、ディナーカレー、とろけるカレー、とろけるシチューなど)、香辛調味料(本生本わさび、おろし生しょうが、ねりからしなど)、インスタント食品その他(おでんの素、レトルトカレー、パスタソース、無菌包装米飯など)の製造販売

株式の状況

- 発行可能株式総数 88,000,000株
- 発行済株式の総数 34,885,585株
- 単 元 株 式 数 500株
- 株 主 数 5,559名
- 大 株 主

株 主 名	持株数	出資比率
峯 栄 興 業 株 式 会 社	3,045 ^{千株}	8.73 %
山 崎 兄 弟 会	3,000	8.60
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,720	4.93
農 林 中 央 金 庫	1,720	4.93
株式会社東京都民銀行	1,222	3.50
日本生命保険相互会社	904	2.59
セコム損害保険株式会社	881	2.53
大日本印刷株式会社	861	2.47
第一生命保険株式会社	622	1.78
株式会社三井住友銀行	611	1.75

役 員

- 取 締 役 会 長 江 戸 龍 太 郎 監 査 役 (常 勤) 小 池 宗 夫
- 代 表 取 締 役 社 長 山 崎 雅 也 監 査 役 (常 勤) 島 田 和 典
- 代 表 取 締 役 副 社 長 山 崎 明 裕 監 査 役 松 延 洋 平
- 代 表 取 締 役 荻 原 敏 明 監 査 役 葛 山 康 典
- 専 務 取 締 役 首 席 執 行 役 員 佐 藤 哲 也
- 取 締 役 執 行 役 員 小 形 博 行 執 行 役 員 加 藤 康 博
- 取 締 役 執 行 役 員 丹 野 好 生 執 行 役 員 中 西 友
- 取 締 役 谷 修 執 行 役 員 萩 原 修
- 執 行 役 員 荒 木 哲 二
- 執 行 役 員 谷 脇 一 知

主な事業所

名 称	所在地	名 称	所在地
本 社	東京都	静 岡 B U	静岡県
八丁堀ハーブテラス	東京都	中 部 B U	愛知県
板橋スパイスセンター	東京都	北 陸 B U	石川県
北 海 道 B U	北海道	関 西 B U	大阪府
北 東 北 B U	岩手県	四 国 B U	香川県
南 東 北 B U	宮城県	中 国 B U	広島県
首都圏北部 B U	埼玉県	九 州 北 B U	福岡県
首都圏東部 B U	千葉県	九 州 南 B U	鹿児島県
首都圏中央 B U	東京都	沖 縄 B U	沖縄県
首都圏西部 B U	東京都	上 田 工 場	長野県
首都圏神奈川 B U	神奈川県	東 松 山 工 場	埼玉県
新 潟 B U	新潟県	宮 城 工 場	宮城県
長 野 B U	長野県		

(注)上記表中「BU」はビジネスユニットを省略記載したものです。



各種お手続きその他のご案内

- ① 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社にお申出ください。
- ② 未払配当金のお支払い
証券会社の口座の有無にかかわらず、株主名簿管理人である日本証券代行株式会社にお申出ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	日本証券代行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 <平成25年1月より郵便物送付先が変更となります。> 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部
(電話照会先)	☎0120-707-843
(ホームページアドレス)	http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html
公告方法	電子公告により行います。(URL: http://www.sbfoods.co.jp/) なお、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。
株主優待制度	有



植林木

この報告書は、森林資源を守る為に計画的な植林によって育てられた樹木を原料としたパルプを使用しています。